



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

島原の水資源の活用と保全対策

Q 島原の湧水について。

① 貴重な島原湧水の現状は？

② 島原湧水の活用状況は？

③ 湧水の保全と今後の課題は？

A ① 島原湧水は一日最大で20万トン、島原城約20杯分。市内42か所の湧水量を毎月調査し、うち19か所は水質検査を実施して全てが適合。

② 飲料、農業用水等に活用し、観光にも大きく貢献。来年8月に島原で「名水サミット」開催決定。

③ 枯渇もみられるが調査を分析し、対応したい。「水の都島原」より「湧水のまち島原」で統一した取組や対応が今後必要になると考える。

Q 島原の地下水について。

① 杉谷運動公園周辺の工業用水の水資源調査内容と対応は？

② 現在は「保全要綱」だが、「地下水保全条例」を制定し、地下水の保全対策の強化を図れ。

A ① 地下約350メートルまでに大きな帯水層を確認。供給能力調査と周辺の井戸や湧水地への影響等を調査したい。
② 保全強化は重要課題と位置づけ、慎重な検討が必要と思う。

島原城築城400年事業

Q ① 「全国城下町シンポジウム」への記念事業実行委員長としての感想は？また、記念事業の実行体制は十分か？

② 確定している事業等イベントのスケジュールと対応は？

③ 島原城の国史跡指定推進とメリット・デメリットは？

A ① 国の史跡指定が備わった城と認識され、築城400年事業に対しても効果が大きい記念事業は、全庁で取り組む。

② 大晦日のカウントダウン事業をはじめ、10月を中心に関係団体と各種行事を数多く計画中。

③ 補修や保存活用等、国の責任で関与、史跡整備や土地の購入等に補助が可能な反面、指定範囲内の開発行為等制限あり。

【その他の質問項目】

◇ 公の施設の指定管理について



長浜会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

島原のおまつり

Q 100年まつりの構想について

A 年間に開催される様々なイベントや祭りの総合的な見直しを図り長きにわたって多くの市民に親しまれ、市内外の方々にも楽しんでいただける市民が主体となる祭りを目指して協議を進めてきた。

Q 財政・人手が乏しくなる状況を見据えて、多くの祭りに小さく力を注ぐよりも、島原市民が誇りと思える祭りに大きく力を注いで、そのレジェンドと言える祭りを市内外に発信すべきではないか。つまり地域のお祭りや神社やお寺の伝統、地域の交流を大事にしながら、市内全体としては質の高いお祭りを大きく開催するような構想は大事ではないか。

A いま、大手門市などイベントを若い人たちが主体的に動いていただけ、そして地域の絆が強く残り、子供たちの教育にもつながる、こういったことを重視しながら、島原城

振興局は撤退するのか

Q 令和8年に諫早市に県南振興局が建設され、この島原市の振興局は撤退するとの話が以前出ていたが、その状況はどうなっているか。

A 振興局が再編された後でも、県民サービス水準の維持のため、島原地区には必要な体制を配置するとされている。

Q 当初の計画を令和3年に見直され、比較的多くの部門が残るようになっていたことは安心材料だが、その人員規模はまだわからない。ぜひ市民サービスの低下は最小限に抑える要望をするとともに、人口減の激しい地方であるので、地方経済にも大きな影響を及ぼすこともあり、最大限の人員規模を残してもらえらう、本市として要望すべきでは。

A 例えば農業は長崎県の生産額の半分は島原半島にあり、半島の中心である島原市として、このような申し入れは継続していく。

【その他の質問項目】

◇ 中途退職と時間外労働

◇ 復興アリーナ